

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道57号立野 ^{たての} 拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：熊本県阿蘇郡南阿蘇村赤瀬 至：熊本県菊池郡大津町瀬田	延長	6.0 km		
事業概要	立野拡幅は、国道57号の交通渋滞の緩和と国際観光拠点である阿蘇地域の地域経済の活性化を目的として計画された延長約6.0kmの4車線拡幅事業である。				
S52年度事業化	都市計画決定 無（都市計画区域外）	S54年度用地着手	S57年度工事着手		
全体事業費	146億円	事業進捗率	65%	供用済延長	1.9km
計画交通量	8,300 ~ 12,200 台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 2.3	総費用 (残事業)/ (事業全体) 60/179億円 (事業費：47/166億円 維持管理費：12/14億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 135/235億円 (走行時間短縮便益：103/193億円 走行経費減少便益：20/30億円 交通事故減少便益：11/12億円)	基準年	平成20年
感度分析の結果	事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.5（交通量+10%） B/C=2.1（交通量-10%） 事業費変動：B/C=2.2（事業費+10%） B/C=2.4（事業費-10%） 事業期間変動：B/C=2.2（事業費+20%） B/C=2.4（事業費-20%）				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される） ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） 				他9項目に該当
関係する地方公共団体等の意見	立野拡幅は、阿蘇地域と熊本市を結び地域間交流の促進、交通混雑の緩和等の重要な役割を果たすことが期待されており、大津町をはじめとする関係2市5町3村の首長等で構成される国道57号整備促進期成会より毎年早期整備の要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	沿線には観光施設等が立地し、立野地区における交通渋滞はますます深刻化している。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成19年度末の事業進捗率は事業費ベースで約65%であり、そのうち用地進捗率は約80%に達している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	事業効果を早期発現できるように、引き続き用地買収及び工事を促進するとともに、関係機関及び地権者等との協議を進め、3工区1.7kmの平成22年度4車線供用を目指す。				
施設の構造や工法の変更等	事業実施にあたっては、新技術・新工法の積極的活用、建設副産物対策により、着実なコスト縮減を図るとともに、早期供用による事業実施の時間的コストの低減に向け、計画的・重点的な整備により効率性の向上を図る。				
対応方針					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図	<p style="text-align: center;">立野拡幅 延長=6.0km</p> <p style="text-align: center;">4工区 延長=1.5km 3工区 延長=1.7km 2工区 延長=1.9km 1工区 延長=0.9km</p> <p style="text-align: center;">追加3車線供用 延長=1.9km</p>				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。